

# テレビによる服薬・健康管理支援システム

張山 陽 佐藤 純平 桑嶋 真也

## 背景 高齢者における服薬・健康管理の重要性とテレビ視聴時間

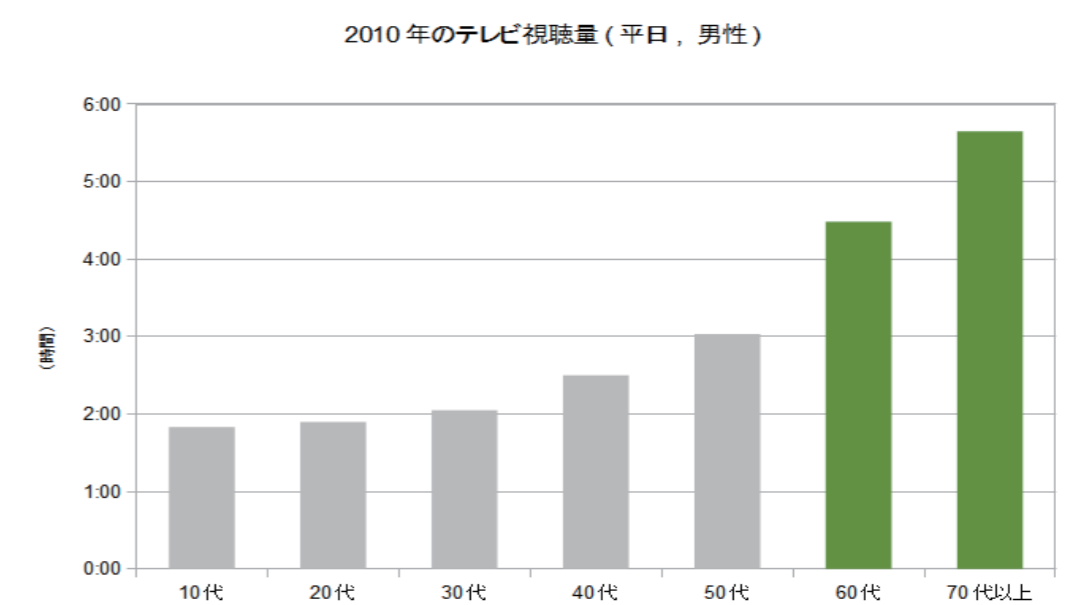
### 問題点 1



### 問題点 2



### 70代以上は5時間視聴



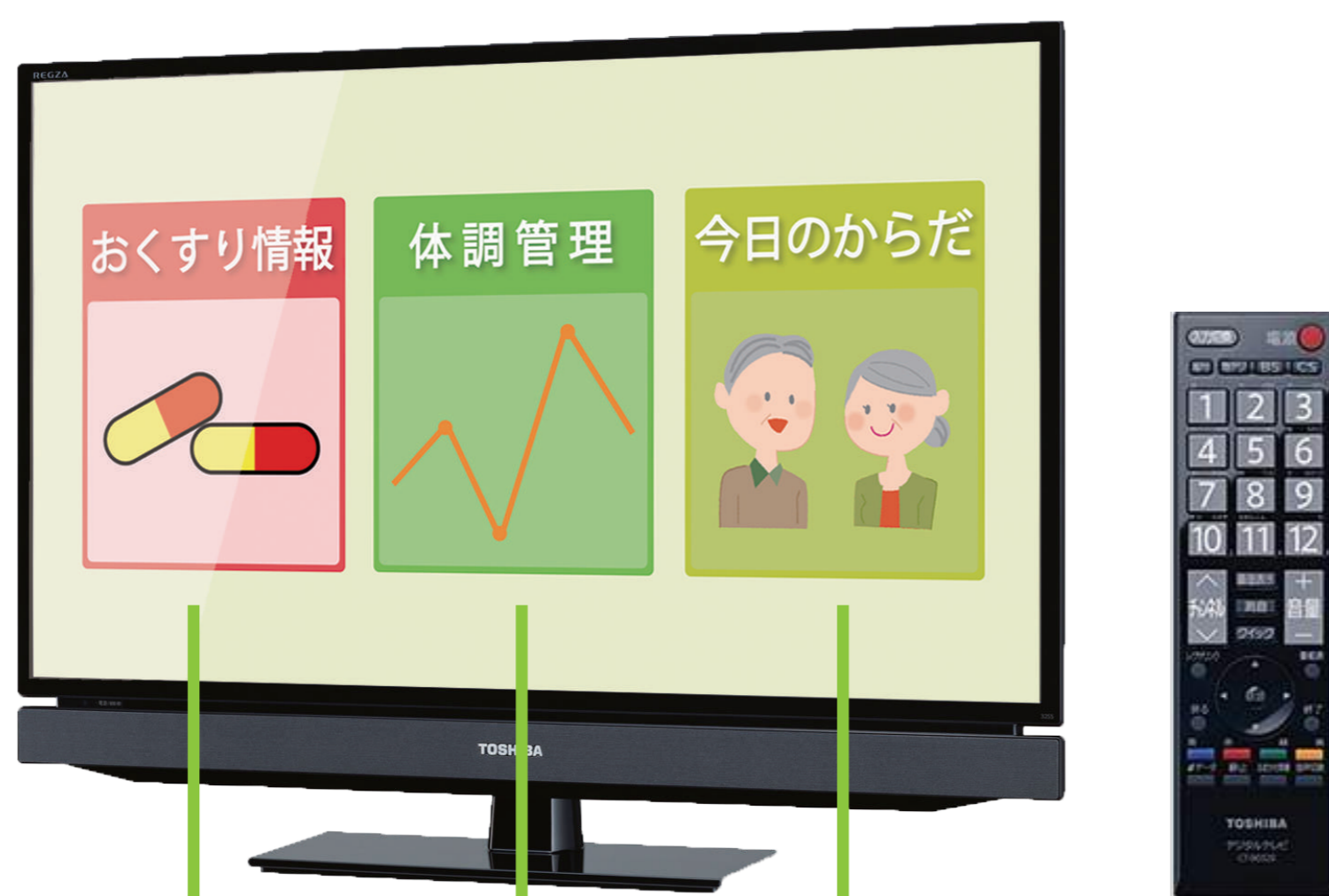
※2011年 NHK文化放送研究所のテレビ視聴時間調査結果

高齢者にも扱いやすい  
アプリケーションの模索

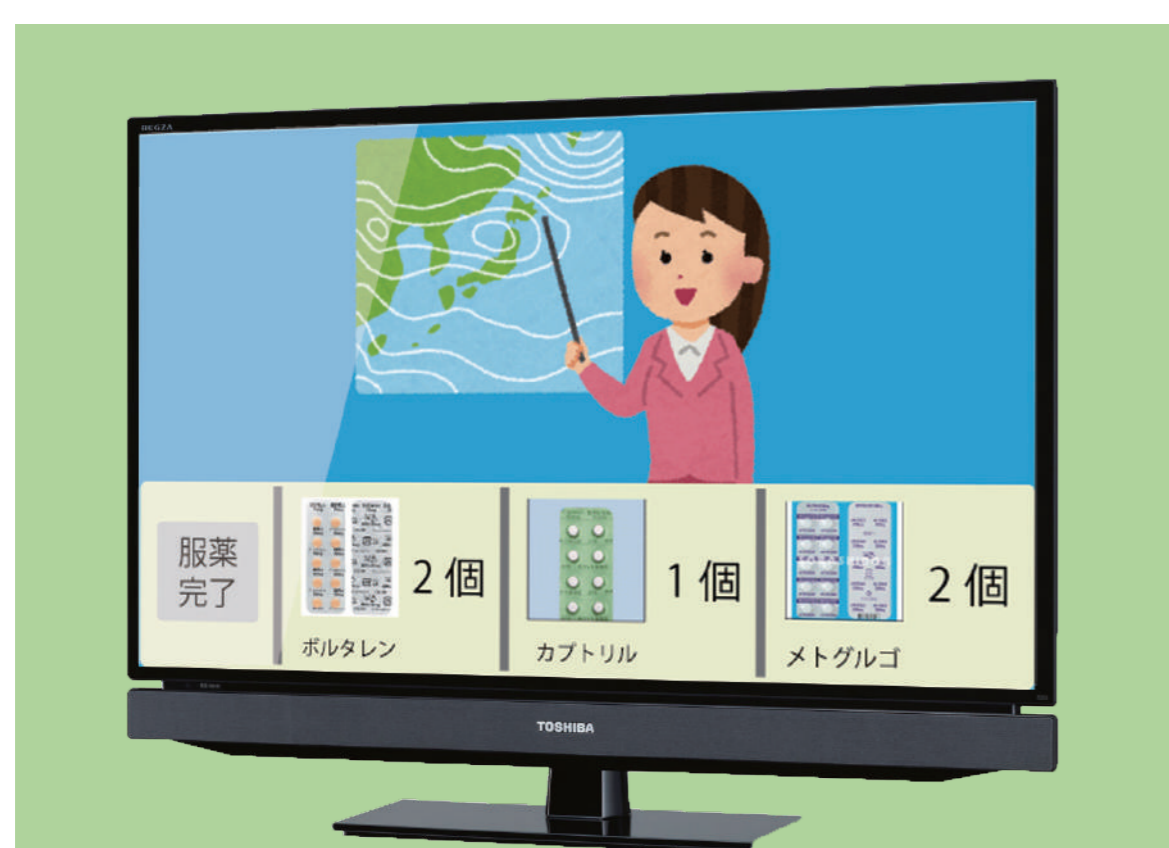
テレビを用いて  
服薬・健康管理問題の解決

## 提案 テレビによる服薬・健康管理支援システム

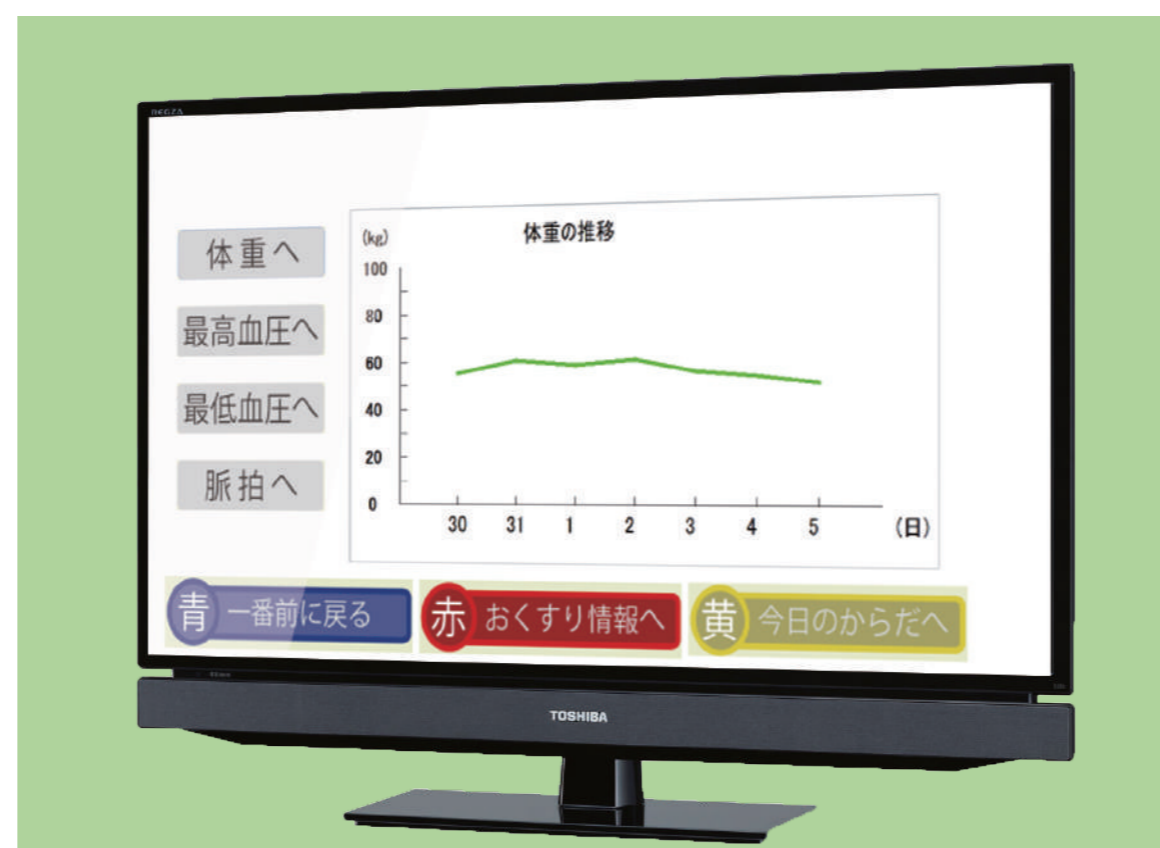
### システム起動画面



- 起動画面からおくすり情報、体調管理、今日のからだの3項目に遷移
- リモコンでの操作が可能
- 3項目はリモコンの4色ボタンの赤、緑、黄を押下することで遷移
- 青ボタンでトップ画面に遷移
- 4色ボタンに割り当てられていないボタンは方向キーと決定ボタンで選択
- 数値入力には数字ボタンで入力



- おくすり情報画面で設定した時間に薬剤情報を表示
- テレビ画面に重ねて情報表示し、服薬の完了まで画面を重畳
- 服薬が完了した後、画面を消去



- 入力されたデータをグラフとして表示
- 体重、最高血圧、最低血圧、脈拍の4項目が閲覧可能



- Bluetooth通信でデータ入力
- リモコンでも入力可能
- データはグラフ化されテレビで簡単に管理が可能

## 展望

- 処方箋のQRコードからの薬剤を読み取り
- 薬剤データベースの利用
- 服薬状況を確認するログカレンダーの実装
- 医療関係者との意見交換を通じて、さらなる課題の発見、解決